

地域から発信する生き生き実践シリーズ



とことん 家庭科

明日につなげる授業実践

家庭科の授業を創る会 編

商品コードNo.2146420

- 定価 **2,730**円(本体2,600円)
- B5判/並製本/176ページ

「本書を読んでいただくにあたって」から

私たち家庭科の授業を創る会は、……毎日の実践に結びつく課題を共に探究してきました。……そのなかで、新しい実践を生み出すことが大切であることを認識しながらも、一つ一つの実践を掘り下げて考えることを重視してきました。実践は目の前の子どもと教師がつくっていくものであり、同じ授業は二度とできません。つまり再現性はないのです。だからこそ一度きりの実践を、教師自身の中に、その後に意味あるものとして残していくことが次の授業を生み出すエネルギーとなるのではないかと考えました。

目次から

・本書を読んでいただくにあたって

■Part 1 考え悩む家庭科教師

- ① 新 家庭科教師論
- ② 切磋琢磨する学びのプロセス
—死から生をとらえなおす保育の授業実践から
見えてきたもの—
- ③ 「評価」を考える

■Part 2 まだまだ深い家庭科の知識

- ① いまどきの「食の安全」について考える
—リスクを等身大にとらえ、主体的な消費者を
目指しましょう—
- ② デートDV を切り口にジェンダー/セクシュ
アリティについて学ぶ
- ③ ピクトグラムレシビと日本の伝統から
自分流のイイ感じを見つける

■Part 3 試行錯誤の家庭科の授業

- ① 実践例 写真を生かした実習記録
—自立につながる調理実習を目指して—

② 実践例 人生すごろくとリスクから考える生活設計

- ③ 実践例 「ラリー・ポイント方式」を用いたやる
気を起こす被服製作
- ④ 実践例 「生地購入学習」から始めるエプロン製作
- ⑤ 実践例 自分にとって家庭・家族とは
—イメージ画から探る家族の授業—

■これまでとこれから

- ① 仲間とともに学ぶということ
 - ② 創る会の歴史に学び、明日の授業を創る
—「家庭科の授業を創る会」に入会して—
- ・メンバー紹介
・執筆者一覧